



## 平成24年4月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年12月9日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社フルスピード

コード番号 2159 URL <http://www.fullspeed.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田中 伸明

問合せ先責任者 (役職名) 管理本部長 (氏名) 保坂 健志

TEL 03-5728-4460

四半期報告書提出予定日 平成23年12月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成24年4月期第1四半期の連結業績(平成23年8月1日～平成23年10月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年4月期第1四半期	3,140	△25.2	158	91.1	143	81.0	79	—
23年7月期第1四半期	4,198	32.7	82	△44.2	79	△47.3	△136	—

(注) 包括利益 24年4月期第1四半期 77百万円 (—%) 23年7月期第1四半期 △120百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
24年4月期第1四半期	541.12	540.58
23年7月期第1四半期	△951.26	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年4月期第1四半期	4,588	177	3.3
23年7月期	4,848	100	1.5

(参考) 自己資本 24年4月期第1四半期 152百万円 23年7月期 74百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金					合計
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	円銭	
23年7月期	—	0.00	—	0.00	0.00	0.00
24年4月期	—	—	—	—	—	—
24年4月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成24年4月期の連結業績予想(平成23年8月1日～平成24年4月30日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
第2四半期(累計)	6,200	△29.4	250	—	220	—	120	—	815.77
通期	8,531	—	327	—	274	—	195	—	1,329.34

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

(注) 当連結会計年度は決算期変更により、平成23年8月1日から平成24年4月30日までの9か月間となります。このため、通期の対前期増減率については記載していません。

#### 4. その他

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年4月期1Q	147,100 株	23年7月期	147,100 株
② 期末自己株式数	24年4月期1Q	— 株	23年7月期	— 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年4月期1Q	147,100 株	23年7月期1Q	143,560 株

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】P.4「(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	4
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	4
2. サマリー情報（その他）に関する事項 .....	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	5
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要 .....	5
4. 四半期連結財務諸表 .....	6
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	8
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	8
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	9
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	10
(4) セグメント情報等 .....	10
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	11
(6) 重要な後発事象 .....	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、平成23年3月11日に発生した東日本大震災や、世界的な金融不安を背景とした円高の影響等により、依然として先行きが不透明な展開となりました。

一方、当社グループの事業領域であるインターネット広告市場は平成22年には7,747億円（前年比9.6%増）の市場（『2010年（平成22年）日本の広告費』・株式会社電通、平成23年2月公表）となり、雑誌、新聞などが軒並み前年割れとなっている中で唯一成長を続け、テレビ広告市場に次ぐ第二の媒体として順調に拡大しております。また、最近のスマートフォンの急速な普及による新サービスの登場やSNS（ソーシャルネットワーキングサービス）領域のさらなる拡大などの影響により、今後も引き続き新たなビジネス領域が生まれ、市場が拡大していくことが見込まれます。

このような事業環境の中、当社グループは、ノンコア事業の大部分を切り離し、主にコア事業であるインターネットマーケティング支援の各種サービスの提供に注力してまいりました。グループ全体で積極的な事業活動に努めた結果、ノンコア事業が含まれていた前年同期と比較すると25.2%の減収となったものの、着実に利益を創出することができるまでに回復し、当第1四半期連結累計期間において、グループ全体で営業黒字を確保することができました。

またその他、当第1四半期連結累計期間には、ノンコア事業に位置付けている子会社（株式会社JPS）の固定資産除却損17,904千円および投資有価証券評価損3,935千円等を特別損失として計上することとなりましたが、四半期純利益においても黒字転換を実現することができました。

以上により、当第1四半期連結累計期間における売上高は3,140,912千円（前年同期比25.2%減）、営業利益158,256千円（前年同期比91.1%増）、経常利益143,205千円（前年同期比81.0%増）、四半期純利益79,598千円（前年同期は四半期純損失136,562千円）となりました。

事業の区分別の営業概況は次のとおりです。

#### <インターネットマーケティングを中心とした法人支援事業>

当第1四半期連結累計期間において、SEOやリスティング広告、アフィリエイト広告などのインターネットマーケティング関連の各種サービスの積極的な営業活動に注力する一方、既存サービスの品質向上に向けた取り組みが奏功したこと等により、SEO、リスティング広告などの主力サービスの売上高は前年同期と比較して増加する結果となりました。

また、中小企業を対象としたインターネットマーケティングの総合支援プラットフォーム「フルスピードクラブ」の契約件数は1,000件超の水準を維持し、その売上高が連結売上高の8.5%となりました。

以上の結果、当事業の売上高は、当第1四半期連結累計期間では2,117,955千円（前年同期比2.9%増）となりました。

#### <アフィリエイトサービスプロバイダー事業>

当事業は株式会社フォーイト（子会社）が行うアフィリエイトサービスプロバイダー事業を対象にしております。

自社開発したアフィリエイトプログラム「アフィリエイトB」および「アフィリエイトBモバイル」の営業活動に注力した結果、当事業におけるプロモーション数・提携サイト数ともに、引き続き順調に増加いたしました。また、引き続き、新たな業界の顧客を開拓するなど積極的な拡販に注力してまいりました。

以上の結果、当事業の売上高は、当第1四半期連結累計期間では755,775千円（前年同期比31.6%増）となりました。

#### <インターネットメディア事業>

当事業は、Webサイト運営・販売およびECが属しております。

当第1四半期連結累計期間において販売したWebサイトはありません。

また、ECにつきましては、当社による自社ECサイトの運営に加えて、株式会社ベッコアメ・インターネット（子会社）による自社ECサイトの運営およびモバイルECサイトの運営受託サービスに取り組んでまいりました。当社が運営するEC事業の売上高は減少傾向である中、株式会社ベッコアメ・インターネットにおいてはゲーム機器や玩具、アパレルなどの一般消費者向けのECサイトの販売が順調に推移いたしました。

以上の結果、当事業の売上高は、当第1四半期連結累計期間では334,680千円（前年同期比45.0%増）となりました。

<データセンター事業>

当事業は株式会社ベッコアメ・インターネット（子会社）が行うデータセンター事業が対象となっております。新規顧客の開拓に努めるほか、顧客ニーズや仮想化サービス等の現在の環境に則したサービスの充実を図る一方、引き続き営業活動に努めた結果、受注は堅調に推移いたしました。

以上の結果、当事業の売上高は、当第1四半期連結累計期間では208,989千円（前年同期比1.9%増）となりました。

<その他事業>

当事業には、株式会社ベッコアメ・インターネット（子会社）が提供しているCATV/ISP向け専用線サービス等の事業が含まれております。

当事業の売上高は、当第1四半期連結累計期間では116,182千円となりました。

- \*1 SEO(Search Engine Optimization) : 検索エンジン最適化。顧客のWebサイトが検索エンジンからの評価を高められるようにサイトやリンク構造を最適化する技術。
- \*2 リスティング広告 : 検索したキーワードに応じて、検索エンジンの検索結果のページに設定された広告枠に表示されるテキスト広告。
- \*3 アフィリエイト広告 : Webサイトやブログ等が企業サイトへバナーやテキスト広告を張り、閲覧者がその広告を経由して当該企業のサイトで会員登録したり商品を購入したりすると、サイトの運営者に報酬が支払われるという成果報酬型の広告手法。
- \*4 アフィリエイトサービスプロバイダー : 広告主とリンク元となるサイト運営者を仲介する業者。
- \*5 EC(Electronic Commerce) : 電子商取引。インターネット等コンピュータネットワーク上で、電子的な情報交換により商品やサービスを分配・売買すること。

(当連結累計年度における事業区分別販売実績)

セグメントの名称	当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年8月1日 至 平成23年10月31日)		
	金額(千円)	構成比(%)	前年同四半期比(%)
インターネットマーケティングを中心とした法人支援事業	2,117,955	67.4	102.9
フルスピードクラブ	267,551	8.5	113.2
SEO	99,987	3.2	79.7
リスティング広告	1,217,996	38.8	111.5
アフィリエイト広告	416,533	13.2	87.2
その他広告	74,459	2.4	103.9
その他	41,427	1.3	76.2
アフィリエイトサービスプロバイダー事業	755,775	24.1	131.6
インターネットメディア事業	334,680	10.7	145.0
Webサイト運営・販売	5,653	0.2	76.1
EC	329,026	10.5	147.3
データセンター事業	208,989	6.6	101.9
報告セグメント計	3,417,400	—	76.6
その他	116,182	3.7	64.0
消去	△392,669	△12.5	88.3
合計	3,140,912	100.0	74.8

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

資産、負債および純資産の状況

(資産)

流動資産は3,131,156千円となり、前連結会計年度末に比べて167,635千円減少しました。これは、主に現金及び預金の減少によるものであります。

固定資産は1,457,754千円となり、前連結会計年度末に比べて92,197千円減少しました。これは、主に固定資産の減価償却及びのれんの償却によるものであります。

(負債)

流動負債は2,964,161千円となり、前連結会計年度末に比べて174,258千円減少しました。これは、主に未払法人税等の減少と、買掛金の減少によるものであります。

固定負債は1,447,074千円となり、前連結会計年度末に比べて162,829千円減少しました。これは、主に長期借入金の減少によるものであります。

(純資産)

純資産は177,674千円となり、前連結会計年度末に比べて77,254千円増加しました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当期（平成24年4月期）につきましては、SEO、リスティング広告、アフィリエイト広告等のインターネットマーケティング関連の事業展開に経営資源を集中し強化に努めると共に、親会社であるフリービットグループの技術支援を受け協働で将来に向けた新事業の企画、開発にも取り組んでまいります。

また財務面については、継続して営業利益を創出できるまでに回復したことから、着実に利益を積み上げることで財務体質の改善・強化に取り組んでまいります。

具体的には、以下のとおりの施策に注力してまいります。

- ① ナショナルクライアントの開拓に向けた営業・サービス体制の確立
- ② 地方都市における地域ドミナントOEM展開による低価格ゾーンを開拓
- ③ 圧倒的な技術力の差別化による提供サービスの向上
- ④ 高付加価値サービスの開発に向けた自社システム開発体制の確立

引き続き、これら4つの施策を積極的に推進することで、収益力の強化および財務体質の改善・強化に努めてまいります。

また、平成23年12月9日に「平成24年4月期第2四半期累計期間の連結業績予想の修正に関するお知らせ」において公表いたしましたとおり、当社の主力事業であるSEO、リスティング広告などのインターネットマーケティングやアフィリエイトの各事業の業績が計画を上回って推移したことが主な要因となり、平成23年9月13日付で公表いたしました当期第2四半期連結業績予想を上方修正いたしました。

なお、平成23年10月27日付で公表いたしました平成23年4月期通期の連結業績予想（9ヵ月決算）につきましては、現時点において変更しておりません。

(注) 決算期変更に伴う通期業績予想の修正について

平成23年10月27日開催の定時株主総会において、「定款の一部変更の件」が承認されたことに伴い、当社の事業年度は毎年5月1日から翌年4月30日までとなりました。

これに伴い、決算期変更の経過期間となる当期（平成24年4月期）は、平成23年8月1日から平成24年4月30日までの9ヵ月間の変則決算となるため、平成23年10月27日付で当期の通期連結業績予想の修正を公表いたしました。なお、現在の通期の連結業績予想（9ヵ月決算）は、期初公表の予想（12ヵ月決算）の8月1日から翌年4月30日までの9ヵ月間を集計したものであります。

## 2. サマリー情報（その他）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
該当事項はありません。

## 3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

当社グループは、前連結会計年度におけるノンコア事業の売却に伴い、純資産が大幅に減少いたしました。当該状況により継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような状況が存在しております。

当社グループは当該状況を解消すべく、引き続き次の施策を実施してまいります。

前連結会計年度のノンコア事業の売却により、当社グループは、インターネットマーケティング関連のコア事業の展開に経営資源を集中しております。現在、当社グループのコア事業の業績は黒字を継続しており、回復基調で推移しております。今後も、引き続き、定評のあるSEO、リスティング広告、アフィリエイト広告などを中心に、インターネットマーケティングの各種サービスの提供に注力することで、当社グループとして早期の業績回復の実現するとともに、さらには、安定した収益基盤と強固な財務基盤の構築に努めてまいります。

また資金面でも、親会社であるフリービット株式会社との連携強化の一環として、親会社が実施しているグループファイナンスを通じて、当社は資金需要に応じて親会社から必要資金を柔軟かつ機動的に調達できる体制を構築しております。従いまして、継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないものと判断しております。

4. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年7月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年10月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,516,777	1,183,716
受取手形及び売掛金	1,442,391	1,616,528
商品	82,478	76,273
未収入金	43,304	37,199
前払費用	56,084	67,168
繰延税金資産	56,043	42,619
その他	150,163	154,354
貸倒引当金	△48,452	△46,704
流動資産合計	3,298,791	3,131,156
固定資産		
有形固定資産		
建物	351,609	356,957
減価償却累計額	△121,476	△129,441
建物（純額）	230,132	227,515
工具、器具及び備品	1,073,873	1,076,069
減価償却累計額	△868,499	△886,622
工具、器具及び備品（純額）	205,374	189,447
土地	172,241	172,241
リース資産	23,525	23,525
減価償却累計額	△13,802	△15,165
リース資産（純額）	9,722	8,359
その他	2,452	2,452
減価償却累計額	△2,047	△2,089
その他（純額）	405	362
有形固定資産合計	617,876	597,926
無形固定資産		
ソフトウェア	46,940	43,909
のれん	211,429	170,447
その他	52	52
無形固定資産合計	258,421	214,408
投資その他の資産		
投資有価証券	220,619	209,798
長期貸付金	152,220	140,220
破産更生債権等	355,398	357,194
繰延税金資産	7,183	7,101
差入保証金	250,848	245,010
その他	76,738	77,538
貸倒引当金	△389,354	△391,445
投資その他の資産合計	673,654	645,419
固定資産合計	1,549,952	1,457,754
資産合計	4,848,744	4,588,911



(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年7月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年10月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,042,880	939,260
短期借入金	※1 1,010,498	※1 1,072,830
1年内返済予定の長期借入金	638,567	619,636
リース債務	4,075	3,252
未払金	137,687	140,219
未払法人税等	74,781	20,955
未払消費税等	66,861	56,270
賞与引当金	23,500	16,000
その他	139,567	95,738
流動負債合計	3,138,420	2,964,161
固定負債		
社債	100,000	100,000
長期借入金	1,398,610	1,243,600
リース債務	5,646	5,107
繰延税金負債	23,740	22,040
その他	81,906	76,327
固定負債合計	1,609,904	1,447,074
負債合計	4,748,324	4,411,236
純資産の部		
株主資本		
資本金	746,611	746,611
資本剰余金	717,611	717,611
利益剰余金	△1,402,124	△1,322,526
株主資本合計	62,097	141,695
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	12,455	10,823
その他の包括利益累計額合計	12,455	10,823
少数株主持分	25,866	25,155
純資産合計	100,419	177,674
負債純資産合計	4,848,744	4,588,911

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年8月1日 至平成22年10月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年8月1日 至平成23年10月31日)
売上高	4,198,834	3,140,912
売上原価	2,814,147	2,448,753
売上総利益	1,384,686	692,159
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	347,973	192,346
地代家賃	201,367	38,254
減価償却費	33,673	12,645
のれん償却額	136,422	27,228
貸倒引当金繰入額	17,316	2,457
賞与引当金繰入額	23,684	11,333
その他	541,431	249,637
販売費及び一般管理費合計	1,301,868	533,903
営業利益	82,817	158,256
営業外収益		
受取利息	407	1,036
受取配当金	—	692
受取保証料	11,308	—
物品売却益	4,463	—
その他	3,229	279
営業外収益合計	19,409	2,008
営業外費用		
支払利息	18,122	14,193
支払手数料	4,854	2,456
その他	149	409
営業外費用合計	23,125	17,059
経常利益	79,101	143,205
特別利益		
特別利益合計	—	—
特別損失		
固定資産除却損	9,499	17,904
投資有価証券評価損	99,959	3,935
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	39,909	—
その他	14,953	2,933
特別損失合計	164,323	24,773
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△85,222	118,432
法人税、住民税及び事業税	43,168	26,619
法人税等調整額	6,219	12,925
法人税等合計	49,388	39,545
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△134,610	78,886
少数株主利益又は少数株主損失(△)	1,952	△711
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△136,562	79,598

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年8月1日 至平成22年10月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年8月1日 至平成23年10月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△134,610	78,886
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	13,667	△1,632
その他の包括利益合計	13,667	△1,632
四半期包括利益	△120,942	77,254
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△122,895	77,966
少数株主に係る四半期包括利益	1,952	△711

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第1四半期連結累計期間（自平成22年8月1日 至平成22年10月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント						その他 (注) (千円)	合計 (千円)
	インターネットマーケティングを中心とした法人支援事業 (千円)	アフィリエイトサービスプロバイダー事業 (千円)	インターネットメディア事業 (千円)	データセンター事業 (千円)	アパレル事業 (千円)	計 (千円)		
売上高								
外部顧客への売上高	2,056,399	136,759	229,681	199,989	1,394,576	4,017,406	181,427	4,198,834
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,103	437,441	1,169	5,102	—	444,817	—	444,817
計	2,057,502	574,200	230,850	205,092	1,394,576	4,462,223	181,427	4,643,651
セグメント利益又は損失 (△)	173,335	42,149	△3,160	19,923	△37,893	194,354	△1,081	193,273

(注) 「その他」区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、CATV/ISP向け専用線サービス等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

利益	金額 (千円)
報告セグメント計	194,354
「その他」の区分利益	△1,081
セグメント間取引消去	△2,432
全社費用 (注)	108,023
四半期連結損益計算書の営業利益	82,817

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに属しない一般管理費であります。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自平成23年8月1日 至平成23年10月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント					その他 (注) (千円)	合計 (千円)
	インターネットマーケティングを中心とした法人支援事業 (千円)	アフィリエイトサービスプロバイダー事業 (千円)	インターネットメディア事業 (千円)	データセンター事業 (千円)	計 (千円)		
売上高 外部顧客への 売上高	2,117,355	369,476	334,039	203,859	3,024,730	116,182	3,140,912
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	600	386,298	640	5,129	392,669	—	392,669
計	2,117,955	755,775	334,680	208,989	3,417,400	116,182	3,533,582
セグメント利益 又は損失 (△)	151,891	89,065	△4,286	13,310	249,980	3,246	253,227

(注) 「その他」区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、CATV/ISP向け専用線サービス等を含んでおります。

前連結会計年度において、株式会社リアム（旧ギルドコーポレーション株式会社）を連結の範囲から除いたため、報告セグメントから「アパレル事業」を除外しております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

利益	金額 (千円)
報告セグメント計	249,980
「その他」の区分利益	3,246
セグメント間取引消去	3,103
全社費用 (注)	98,074
四半期連結損益計算書の営業利益	158,256

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに属しない一般管理費であります。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当事項はありません。

(6) 重要な後発事象  
該当事項はありません。